



松江市の 魅力 発信

大口中学校3年生が松江市の歴史や文化を学び魅力をPR！

松江市ツーリズムアンバサダーに任命

10月11日(日)から、島根県松江市に大口中学校3年生(213名)が修学旅行に訪れ、2泊3日で松江城や松江フォーゲルパーク、出雲大社などの名所を巡りました。

これまで同校の修学旅行は、毎年5月末に東京ディズニーランドや東京方面への旅行が定番(1990年から)でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、比較的感染の落ち着いた秋に延期され、行き先は大町出身の戦国武将堀尾吉晴公が縁で姉妹都市となった島根県松江市に変更されました。

緊急事態宣言の解除を受け、学校が再開された6月上旬ごろ、「修学旅行は一生の思い出。教育上の効果もあり、大事にしてあげたい」と、先生方や大町教育委員会が協議を重ねました。コロナ禍というかつてない状況下、姉妹都市提携50周年の松江市に協力していただけることになりました。一番問題となっていた宿泊は、松江旅館ホテル組合に手配していただき、1部屋に滞在する人数を減らすため市内4箇所のホテルに分宿できるよう受け入れが整いました。今回の修学旅行は、多くの人が関わることによって実現しました。



▲授業で任命証を手渡し



▲松江市ツーリズムアンバサダー任命式



▲修学旅行記念植樹式



▲事前授業

事前授業

生徒たちは、社会科「現代の民主主義」の単元で、修学旅行でも利用されたGOTOトラベルキャンペーンを題材に政治や選挙制度を事前学習し、まよめの授業ではGOTOトラベルキャンペーンの是と非を考え、自分たちができることをまとめました。

同キャンペーンに対し、「大都市では感染が収まっていないのに、国民を犠牲にしてまですることはなく」と厳しい意見も出されましたが、「苦境に立たされている観光業の支援や経済の立て直しも大切」「感染を予防しながら日常生活を送るWithコロナの時代。一人ひとりの心がけが大切」という社会に目を向ける意見も多く聞かれました。



松江市ツーリズムアンバサダー

修学旅行では、持ち物に各自3日分のマスクや、除菌グッズを持参。毎朝の健康チェック（検温など）やトイレ休憩などバス乗降時は常に担任から消毒を受け、食事中は会話をしないなどの感染防止対策をとりながら、市内観光では日本の歴史を肌で感じ、勾玉や和紙作りなどの文化体験を楽しみました。

出発前に鈴木町長から親善大使に任命された生徒は、松江フォーゲルパークで修学旅行記念植樹式をおこない、交流の証として「おおぐち観鋭桜（町内で育てた古来種の苗木）を植樹。同日には松江の歴史や文化などの魅力を広く発信していく「松

江市ツーリズムアンバサダー」の任命式がおこなわれ、生徒全員が松江市長から任命されました。

社会科授業で

帰校後、生徒は社会科の単元「地方自治と私たち」で「松江市ツーリズムアンバサダーを任命され、中学生としてできること」を課題に、まずは自分たちが生まれ育った大口町が目指すまちづくりを「第7次大口町総合計画（2016～2025）」をもとに学習。町の一員として、3年後、選挙権を得る生徒が未来を見据えて、自分自身の地域への関わり方を真剣に考えました。そして松江市と大口町の財政や、

まちの特色を比較。松江市は観光のまち、大口町は産業のまちというそれぞれの特徴を持つほか、特に大口町は住民と行政、企業が手を取り合い事業を進める「協働」を大切にし、積極的に取り組んでいます。こうした住民団体の中には堀尾吉晴公の功績を語り継ぐため、長年尽力されている「堀尾史蹟顕彰会」や「丹羽ライオンズクラブ」があり、

吉晴公が結んでくれた『縁』を大切に守ってくださっています。また、姉妹都市提携によって新しく松江市と縁が結ばれた団体や事業を再確認。今回の修学旅行もこういった縁が結ばれるきっかけになるといいですね。

単元最後の授業は、このようにテーマを広げ学習したことを踏まえ、松江市ツーリズムアンバサダーとして実現の可能性を高めた考えを大口町に提案するため、アイデアをまとめました。

先生からのメッセージ

岩本勇希先生 大口町の親善大使として松江市に派遣され、ツーリズムアンバサダーに本校の生徒が任命されるといった経験はそうある

ことではありません。社会科の授業で、生徒一人ひとりの社会参画の力を高め、修学旅行で感じた松江市の魅力をどうしたら伝えることができるか考える姿に成長を感じました。

川地玄記先生 大口町で生まれ育った生徒が、他市町と比較することで改めて故郷の強みと弱みを知り、今後の大口町をよりよくするために主権者としての視点で考えられるよう授業を進めました。大口町は素敵な自治体だと思います。私大口町を知らなければ、自分の住む故郷を考えます。進学や就職での新しい地で故郷のことを考え、良さを改めて感じ、戻ってきてくれる人になってくれたらと思います。

この一年で、学校や社会、人の関わり方や経済の流れ、あらゆるものが変化をし、大変な一年を過ごした大口中学校3年生の皆さん、そんな中、修学旅行で得た多くの経験はこれからの皆さんの背中を支えていく大きな糧となることでしょう。大志を持って自分で選んだ路を進んでいってください。



て私たちができることを提案



松江市の代表的な木を堀尾跡公園に中学生が植える。訪れた人に大口町と松江市は姉妹都市だということを知ってもらう。裁断橋物語や堀尾金助、堀尾吉晴公を再認識してもらう。

松江と大口の中学生が交流する(ネット環境を使って)



町民が、島根の温泉で作ったパックや洗顔など、美容で有名なことを知らない。買いにいけない人のために、大口町のホームページに島根ページを作り、温泉化粧品の販売やしじみ健康作り(しじみメニュー)を載せてもらう。

松江市ツーリズムアンバサダーが旅行プランを考える

広報おおくちを使って自分たちが体験し、楽しかったことをプランに入れる

- ①松江城堀川遊覧船 ②夕焼けの宍道湖散歩
- ③しじみ料理 ④日本海遊覧船(釣り体験)
- ⑤いろんな体験ができるフォーゲルパーク

大口町民が松江市を知らない人が多いので、大口町歴史民俗資料館に松江のブースを作る。

大口町民に松江市の良いところをパンフレットや、短くて伝わりやすいPR動画を作る。小学生には絵本を作ってPR!

松江は人が明るく温かい！
大口町では見られない風景がある！
(宍道湖に沈む夕日など)
食べ物が美味しい！
(蕎麦、しじみ、カニなど)



若年層は SNSで。40代以上の方は旅行に訪れてもらう。そのためには、広報おおくちや、ほほえみプラザ、役場など町民がよく目にする場所に松江市ツーリズムアンバサダーが作った新聞的なものを掲示する

松江への旅行補助金制度を増やして行きやすくする。(小中学校の修学旅行)

ツーリズムアンバサダーになった僕たちが、修学旅行を通して分かった松江の魅力や雰囲気や町内の高齢者に話す場を作り、松江を知ってもらう。



松江市の伝統的なモノを作る体験を大口町でおこなうことで、松江市を知るきっかけとなる。(水燈路・勾玉・和紙作り)

小中学生同士、手紙のやり取りをする。

広報おおくちに、「松江城について」「姉妹都市について」「宍道湖の伝説」などを簡単な漫画にして載せる。

松江市の郷土料理やお菓子作りの体験をする。そして家族にも食べてもらう。本場の料理を食べてみたいと実際に行くことになるかも。



家族旅行の旅行プランを立てる。小さな子でも安心して楽しめるプランや、いろんな体験や食べ物を紹介



ツーリズムアンバサダーが大人女子(20代から40代)にオススメのポスターやパンフレットを作る。日々の疲れを取るため、癒される大人らしい旅行をお勧めして松江に興味を持ってもらう



松江市 ツーリズムアンバサダーとし

私は松江の本当の魅力を知って
もらいたい。ふれあいまつりに
松江の体験コーナーを作ったり、
特産品の物産展をする。宣伝の
チラシは自分たちで作り、
ツーリズムアンバサダーとして
松江の魅力を発信する。



大町民は松江市の魅力を知ら
ない人が多いので、松江市の観
光名所の写真展、展示会をほほ
えみプラザや図書館で開く。



松江の食べ物が美味し
かったから給食に出して
もらいたい。出してほし
いメニューはしじみラー
メン・しじみごはん。

松江市に行くとお成金が出る
ことをポスターにする。お成
金制度の宣伝。お成金を 1.5~2
倍ぐらい増額する。



私たちが行った場所をポス
ターにして、展示場所を提
供してもらい展示する。



松江で食べたごはんが美
味しかったので、給食に
松江のご当地メニューを
作ってもらいたい。



私は今回修学旅行へ行き、「町
民が全体が松江を知らない。
認知度が足りない」と思いま
した。ツーリズムアンバサダー
として松江の魅力などを書いた
新聞を作り、配ることを提
案します。新聞は学校の資源
回収のお知らせと一緒に各家
庭に配ります。

大町役場やスーパーマー
ケットで物産展を開く！
広報おおぐちや大町のホーム
ページに宍道湖や松江城の
写真を掲載したり、観光動画
を制作してQRコードを載せて
多くの人に見てもらう。



私たちが知った松江のことを
広げるために、小学校を訪問
して授業をする。松江市の観
光地や特産品に興味を引くよ
うなムービーを作って紹介す
る。

松江で体験できることを大町でも
やってみる。体験すると松江の魅力を
知ることができて、行きたくなると思う。

中学生が
こんな提案
してくれましたよ！
町長にも見て
もらいましょう！



一生懸命
考えたんだね！

広報担当
秘書広報室
江口さん

鈴木町長



姉妹都市提携担当
政策推進課
山田さん

松江には魅力が詰まっている。松江市は自然
と歴史の両方が魅力的！一番印象に残ったの
は宍道湖の夕日と日本海、松江城堀川の遊覧
船です。

学共にな人を集めて「松江の魅力を伝える会」
をするため、リモートで松江とつなぐ。
(松江城のガイドの方や修学旅行に行った中
学生が建築物、伝統、特産品を紹介する)